

事業者名	地方独立行政法人青森県産業技術センター								
機器名	三次元画像解析システム								
写真									
特徴・用途	製品などの形状データからCADデータを作成する(リバースエンジニアリング)機能とCTデータ等を立体化する(ボリュームレンダリング)機能とにより、三次元データを総合的に解析する。								
設置場所	地方独立行政法人青森県産業技術センター八戸地域研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成27年12月	3	0	0	0	0	0	3	3
	平成28年1月	4	0	0	0	0	0	4	4
	平成28年2月	5	0	2	0	0	0	3	5
	平成28年3月	6	0	3	0	0	0	3	6
	平成28年4月	3	17	2	0	0	0	0	19
	平成28年5月	2	25	0	0	0	0	0	25
	平成28年6月	3	37	1	0	0	0	0	38
	平成28年7月	4	64	0	0	0	0	0	64
	平成28年8月	4	40	0	1	1	0	1	42
	平成28年9月	4	30	1	0	0	0	1	32
	平成28年10月	7	44	0	0	0	0	5	49
	平成28年11月	4	20	0	1	1	0	2	23
	平成28年12月	10	100	0	0	0	0	3	103
	平成29年1月	4	0	0	0	0	0	4	4
	平成29年2月	11	52	7	0	0	0	2	61
	平成29年3月	3	50	1	0	0	0	1	52
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面で表示される測定結果が3D(立体)で表示される事で直感的にデータを把握でき、必要な情報を容易に得られるようになった。</li> <li>・客先や上司に結果を説明しやすくなった。プレゼンでは効果的である。</li> <li>・欠陥が一目でわかり品質管理が容易になった。</li> <li>・特別な装置なしで自社にデータを持ち帰り解析可能になった事で、品質改善に役立っている。</li> <li>・定性的だった欠陥解析を定量的に評価できるようになり、工程改善に役立っている。</li> </ul>								
補助事業概要 の広報資料	<a href="http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h27/pdf/27-029koho.pdf">http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h27/pdf/27-029koho.pdf</a>								

事業者名	地方独立行政法人青森県産業技術センター								
機器名	ネットワークアナライザ								
写真									
特徴・用途	機械工業製品内蔵の電子制御回路に対する入力及び出力電気信号等の振幅と位相を計測し、Sパラメータと呼ばれる性能指標を算出することにより、機械工業製品内蔵の電子制御回路に対する詳細な周波数特性評価を行う。								
設置場所	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 工業総合研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成27年11月	0	0	0	件数(件)	時間(時間)	0	0	0
	平成27年12月	10	0	0	0	0	0	10	10
	平成28年1月	6	0	0	0	0	0	6	6
	平成28年2月	4	0	0	0	0	3	1	4
	平成28年3月	3	0	0	0	0	1	2	3
	平成28年4月	10	0	0	0	0	5	5	10
	平成28年5月	5	0	0	0	0	0	5	5
	平成28年6月	13	0	0	0	0	3	10	13
	平成28年7月	10	0	0	0	0	4	6	10
	平成28年8月	8	0	0	0	0	4	4	8
	平成28年9月	11	0	0	0	0	4	7	11
	平成28年10月	12	0	0	0	0	4	8	12
	平成28年11月	10	0	0	0	0	4	6	10
	平成28年12月	8	0	0	0	0	4	4	8
	平成29年1月	8	0	0	0	0	0	8	8
	平成29年2月	16	0	0	0	0	0	16	16
	平成29年3月	20	0	0	0	0	0	20	20
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価試験品に対する高周波電気信号伝搬解析が可能であり、開発コストの削減を期待できる。</li> <li>・試作電子回路に対する周波数特性評価が可能となったため、試作電子回路に対する動作確認を効率良く行うことができる。</li> <li>・テキストファイル形式における評価データが提供されることから、社内に持ち帰った後のデータ整理が容易である。</li> <li>・電気ノイズ対策には必要不可欠な測定装置であり、品質改善に役立っている。</li> <li>・電波暗室に対する周波数特性評価には必要不可欠な測定装置であり、研究開発に役立っている。</li> </ul>								
補助事業概要 の広報資料	<a href="http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h27/pdf/27-029koho.pdf">http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h27/pdf/27-029koho.pdf</a>								